

<https://www.fuso-pharm.co.jp/>



ホームページはこちら



いのち
生命のために
私たちができること

MR

仕事もプライベートも充実

MRになって良かった！

営業職を求める中で見つけた やりがいのある仕事

私は入社3年目。現在、大学病院を担当しています。医師や看護師、臨床工学技士の方々に製品の情報を提供したり、情報収集をしたりするのが主な仕事。私の話を先生方がきちんと聞いてくれて、それが成果につながったときは、自分のやっていることが認められたようでうれしくなります。でも実は、就職活動をするまで透析についてほとんど知りませんでした。自分には営業職が向いていると思って自己分析しているうちに、医療業界に興味を持ち、MRになることを決心しました。

気さくで話しやすい先輩や上司ばかり 支店勤務を楽しんでいます！

大阪出身なので、仙台支店勤務と言われたときはびっくりしましたが、先輩たちが本当に優しくて気さくな方ばかりで、不安は吹き飛びました。支店長や営業本部長などの管理職との距離感も「こんなに近くていいんだろうか」と思うほどで、よく声をかけていただき、飲みにも誘ってもらっています。また、他社のMRとも仲良くなり、一緒に遊びに行くことも。仕事もプライベートも楽しいです！先輩方に恩を返すためにも、私自身がもっと成長して、後輩に頼られる存在になりたいです。

営業部 入社3年目

医薬についての知識が なくても心配なし！

現在MRとして働いている先輩のほとんどが、知識がまったくないところからスタートしています。専門スタッフが、資格取得を目指した各種研修を行うほか、MRとして自立できるまで丁寧に指導します。

MR資格試験
合格率 **100%**

※2023年度

いのち 生命支えて、いのち 生命育む

扶桑薬品工業は、医療用医薬品、医療機器、体外診断用医薬品および研究用試薬を取り扱う、日本有数の基礎的医薬品メーカーです。透析関連医薬品をはじめ、輸液・注射剤など、医療に不可欠な医薬品を製造販売しています。

● 患者さんの命を支える

ブドウ糖注射液から医薬品製造をスタートした当社は、1964(昭和39)年に日本初の透析液を開発。透析領域のスペシャリティファーマとして、透析剤や輸液・注射剤で患者さんの命を支えています。



● 生まれ来る命を育む

2000(平成12)年に不妊治療・生殖補助医療(ART)分野に進出。いままでにないアミノ酸組成の胚培養液として世界14カ国で特許を取得した「HiGROW OVIT」を発売するなど、不妊に悩むカップルに寄り添うとともに、日本における少子化対策への貢献を目指しています。



生命のために、想いは一つ

「生命支えて、生命育む」という想いのもと、さまざまな職種の社員が一丸となり、高品質で安全性の高い製品の安定供給に力を尽くしています。

MR（医薬情報担当者）

病院や調剤薬局を訪問し、医療関係者の方々へ医薬品の品質・有効性・安全性に関する情報の提供および収集を行い、医薬品の適正使用の普及に努めています。

研究開発

透析剤などを中心に、いまだに治療方法が確立されていない疾患や治療満足度の低い疾患に対する医薬品、体外受精関連製品などの研究開発に取り組んでいます。

生産技術

高品質かつ安全性の高い医薬品を効率よく生産し、安定的に医療現場へ届けるため、全国4つの工場での生産について設計・管理などを行っています。

信頼性保証

法令等に則り、各部門とも連携しながら、製品の製造から販売後の流通・使用にいたるまでのすべての段階において、品質や安全性に関する適切な管理・監督を行っています。

もっと知って
ほしい！

扶桑薬品
工業の想い



創業・透析剤
開発の歴史



あなたのやる気が実力と手応えに変わる！ 人材育成

当社は従業員のキャリアビジョン実現と企業価値向上のため、業務に必要なスキルを習得するための研修はもとより、自己研鑽のための研修にも力を入れています。

スキルと自信が身に付く 新入社員研修とOJT

接客や電話での応対といったビジネスマナーを身に付けるための新入社員研修のほか、研究所や工場の見学、MRの学術研修など、さまざまな研修を行っています。配属後には、年齢の近い先輩社員が育成担当となるOJTを中心に部署単位の研修も実施。専門知識や技術をしっかりと習得することができます。



充実したサポートで、自分らしいライフプランを実現 福利厚生

社員一人ひとりが自分らしく働いていけるよう、しっかりとサポートします。特に、当社は不妊治療・生殖補助医療分野にも注力していることから、子を望む従業員や子を育てる従業員を力強く後押ししています。また、社内報やチャリティウォークリアルイベントなどを通じ、社内コミュニケーションを図っています。

MR

出産後、MRとして復帰！ 子育てと仕事を無理なく 両立しています

育休から復帰し、今は時短勤務をしています。直行直帰も可能な営業職で、担当エリアを家の近くに変えるなど柔軟な対応をしてもらい、仕事と子育てを両立できています。営業という個人プレーのイメージがあるかもしれませんが、当社は協調性や親しみを大切にしている方が多く、困ったことがあれば周りに相談できる安心感があります。子育て中の私のことも周りの方が優しくサポートしてくれます。今は週3日、子どもを寝かしつけた後に1人でジムに行く時間も持っていて、それが自分へのご褒美ですね。

営業部 入社9年目



働きやすい環境で

安心して研究に取り組める

データの先に患者さんがいることを 忘れないようにしたい

私は、薬の効果や安全性の評価を行っている薬理安全性研究課で、主に薬が体に吸収されてから排出されるまでの過程を調べる薬物動態という分野の業務に携わっています。実験の作業手順や測定条件を構築していく段階も含め、毎日確実に成果を積み上げられるようなやりがいのある仕事です。また、部署名の通り、薬理や安全性の研究も行う部署ですので、多岐にわたる分野の研究に携われるのも魅力の一つです。データと向き合う中でも、その先にはさまざまな患者さまがおられることだけは忘れずに、日常の中で使っていたきやすい薬を開発していかなければならないと考えています。

みんなで協力し合う優しい雰囲気 いつも感謝しています

私がこの会社を選んだのは、みんなで協力し合う優しい雰囲気に惹かれたからです。研究所が1カ所に集約されていて、他部署の方もほぼ全員顔見知りなので、気になったことや思いついたことなどを上司や先輩にも気軽に話すことができます。少人数のため、新人に大きな役割を任せてももらえるときもあります。当然わからないことや失敗もありますが、周りの方々がフォローしてくださるし、助けや意見も求めやすいですよ。働きやすい職場だなと、いつも感謝しています。

研究開発センター 薬理安全性研究課 入社8年目

もっと知って
ほしい！

扶桑薬品工業の
研究開発



創薬研究



生命にまっすぐ！私たちの想い



臨床開発

医薬品開発の最後の砦 責任ある仕事だからこそ

医療機関で行う臨床試験（治験）の計画・実施が主な業務です。研究も、人と関わるのも好きなので、両方の要素がある臨床開発の職を選びました。臨床開発では、業務内容ごとに部署が分かれている会社も多いですが、当社では少人数でチームを組んで対応していることから、あらゆる業務に関与することができます。臨床試験は、いわば医薬品開発の最後の砦。非常に重い責任を担っていると感じています。だからこそ意識しているのが、残業しなくてもよいように業務を進めること。家族との時間を大切にすることが、仕事の質を高めることにつながっています。

研究開発センター 臨床開発課 入社 11 年目

仕事とプライベートの どちらも大切にできる会社

QC課の主な仕事は、工場で生産された製品の品質・安全性などの管理です。患者さんの命に関わるものだからこそ、これだけ規格が厳しいんだと時々実感します。職場の雰囲気は、基本的に一人で試験を行うのでとても落ち着いています。でも質問などは気軽にでき、何かあれば先輩方にフォローしてもらくこともあります。スケジュールも自分次第なので、仕事とプライベートのどちらも大切にできる職場ですね。また、当社の野球部に所属しており、練習や試合を通じて他部署の人たちと交流できるのも、自分にとってプラスになっています。

生産本部 QC 課 入社 2 年目



生産技術

職場の雰囲気や人間関係の良さは 私が保証します！

副作用について、複数の情報を集めて内容を検討し、しかるべき機関に報告したり、対処法なども含め医療機関に伝えたりしています。副作用のない薬はありません。患者さんへの影響を最小限にする、とても大事な仕事だと思っています。

入社して驚いたのが、職場の人間関係の良さ。皆さんとても優しく、相談もしやすいです。残業が少なく休みもとやすいので、ストレスが少ない職場です。雰囲気や人間関係の良さは私が保証します！安心して入ってきていただけたらうれしいです。

信頼性保証本部 安全管理統括部 入社 5 年目



信頼性保証

サステナブルな社会の実現へ向けて

当社は、社是の一つとして「社会寄与につながる経営方針」を掲げており、医薬品の安定供給や環境負荷低減、地域社会への貢献など、多岐にわたる取り組みを通じ、サステナブルな社会の実現を目指しています。

● 環境対策

1970(昭和45)年に城東工場の無煙化を達成するなど、早くから環境問題に取り組んできました。2023(令和5)年には茨城工場において燃料転換を実施、2024(令和6)年には複数拠点においてCO₂フリー電力を導入するなど、2050年カーボンニュートラルの実現に向け環境負荷低減の取り組みを積極的に進めています。



● 社会貢献活動

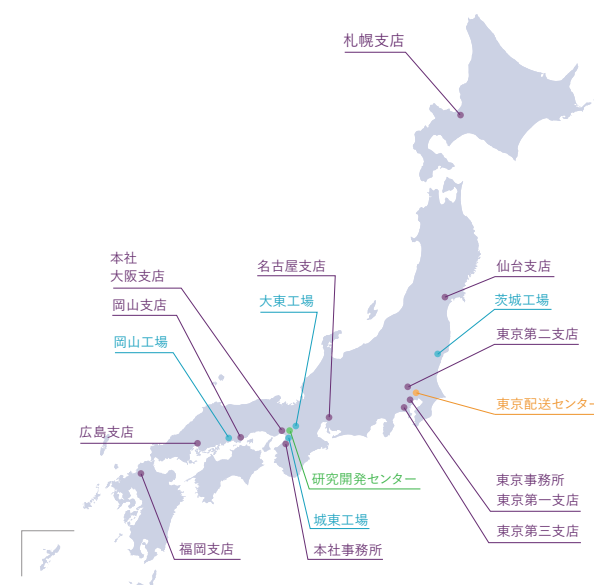
健やかで心豊かな生活ができる社会づくりを目指し、従業員等が歩いた歩数に応じて支援団体へ寄付を行う「チャリティウォーク」や災害復興支援など、さまざまな社会貢献活動を推進しています。



患者さんのもとへ 安定的に届けるために

● 全国に広がるネットワーク

扶桑薬品工業の多くの製品が、医療に不可欠で安定供給が求められる「安定確保医薬品」や「基礎的医薬品」に指定されています。全国4カ所の製造拠点と12カ所の物流拠点を分散配置して自然災害等によるリスクを軽減し、いかなる状況・場面でも製品を供給できるように努めています。



会社概要

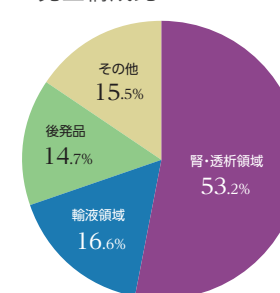
設 立	1937（昭和 12）年 3 月 25 日
資 本 金	107 億 58 百万円
従 業 員 数	1,307 名（2024 年 3 月 31 日現在）
上 場 取 引 所	東証プライム市場（証券コード 4538）
主な事業内容	医薬品の研究開発、製造、販売

コーポレートシンボル

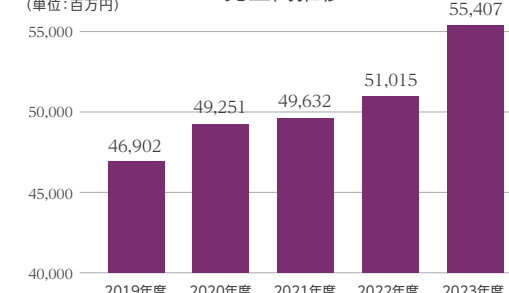


社章のぶどうは、当社創業以来ゆかりの深いブドウ糖を象徴するとともに、構成員の円満な人格、玲ろう純真な品性と強固な団結をシンボライズしています。

売上構成比（2023 年度）



売上高推移
(単位：百万円)



最新の情報は
こちら！

会社概要・沿革

